



YAMAHA

Road Star 

XV1600
取扱説明書

はじめに

ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。

車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。

車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。

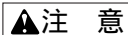
また、メンテナンスノート、セーフティガイド（バイクをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。



安全にかかわる注意情報を示してあります。



取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。



取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

要 点

正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。

- お車の正しい取り扱い方法
- 日常点検、定期点検整備
- 保証内容および保証期間
- 保証書の発行（保証書裏面の記入・捺印）

車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡ししてください。

仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

1. 安全運転のために	P2
あなた自身と同乗者のために	P2
歩行者と他の車のために	P7
環境・住民の方との調和のために	P8
2. 名称と操作	P10
各部の名称	P10
計器類の見かた	P12
時刻調整のしかた	P14
メインスイッチ	P16
ハンドルロック	P17
ハンドルスイッチの使いかた	P18
フューエルコック	P20
チョークノブ	P22
ヘルメットホルダー	P22
シートの取り付けかた	P22
書類入れ	P23
サービスツール	P23
サスペンションセッティング	P23
3. 燃料補給	P25
ガソリンの給油	P25
4. 運転操作	P26
エンジンのかけかた	P26
走りかた	P28

ギヤチェンジのしかた	P28
シフトダウンのしかた	P29
ならし運転のしかた	P29
ブレーキの使いかた	P30
エンジンの非常停止	P31
5. 日常点検	P32
日常点検の実施	P32
日常点検箇所 / 点検内容	P32
日常点検の方法	P33
6. 定期点検整備	P38
定期点検整備の実施	P38
定期点検整備の方法	P38
アンダーブラケットの	
取り付け状態の点検	P39
クラッチレバーの遊びの点検	P39
ドライブベルトの点検	P40
エアクリナーエレメントの点検	P40
車体各部の給油脂状態の点検	P42
バッテリーの点検	P42
ブレーキパッドの点検	P43
7. やさしい整備	P44
やさしい整備	P44
ブレーキの遊びの調整	P44

ブレーキ液の補給	P45
ブレーキランプスイッチ	P46
クラッチレバーの調整	P47
エンジンオイルの補給	P48
トランスファーオイルの	
交換時期	P49
エアクリナーエレメントの	
清掃	P50
ドライブベルト	P50
バックミラー	P51
タイヤ	P52
バッテリー	P52
ヒューズ	P54
8. お車の手入れ	P56
洗車	P56
保管のしかた	P57
アフターケア用品について	P58
9. サービスデータ	P59
製品仕様	P59
サービスデータ	P60
10. モデルラベル	P62

JAU01894

1. 安全運転のために	2
2. 名称と操作	10
3. 燃料補給	25
4. 運転操作	26
5. 日常点検	32
6. 定期点検整備	38
7. やさしい整備	44
8. お車の手入れ	56
9. サービスデータ	59
10. モデルラベル	62

安全運転のために

JAU01896

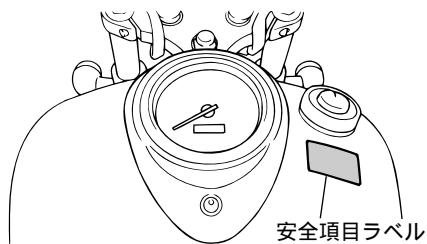
この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。

- 安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

JAU01904

1.あなた自身と同乗者のために

安全項目ラベルについて



運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。

車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。

警告

- ・取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
- ・ヘルメットを正しくかぶりましょう。
- ・マフラーは熱くなります。人が触れにくい場所に駐車する等の配慮をしましょう。
- ・ヘッドランプを昼間はロービーム点灯しましょう。
- ・違法改造はやめましょう。
- ・定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

3XC-2118K-10

安全運転は正しい服装から



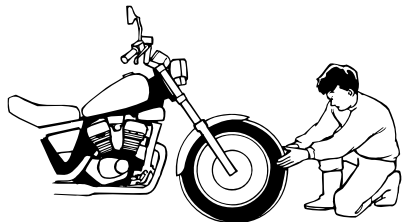
- ヘルメットは必ず着用してください。
ヘルメットはSまたはSG、JISマークのある二輪車用を必ず着用してください。ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしっかり合って、圧迫感のないものが最適です。
- グローブを必ず着用してください。
- ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。
- 運転する服装は、明るく目立つ色で動きやすく、体の露出が少ないものを着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。
ズボンのすそや袖口の広い服は、運転操作のじゃまになり、思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。
- 靴はかかとが低く、足にピッタリしたものを選んでください。
- 同乗者にも上記の注意を守らせてください。

警告

ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。

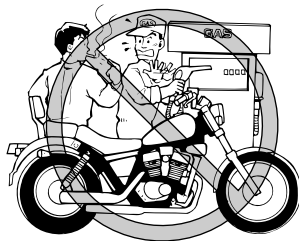
運転者と同乗者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

日常点検、定期点検整備を必ず実施してください。



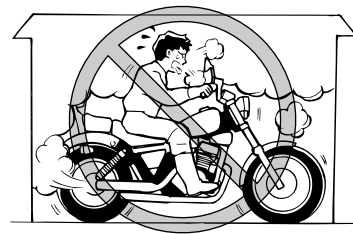
事故や故障を防ぐため、法令で定められた1日1回ご使用前に行う日常点検と、法令で定められた6か月、12か月ごとに行う定期点検は必ず実施してください。

給油時は火気厳禁



ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。

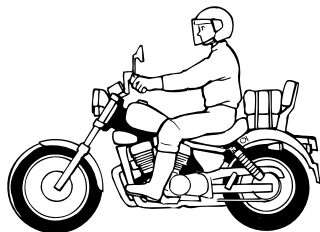
風通しの悪い場所でエンジンを始動しない



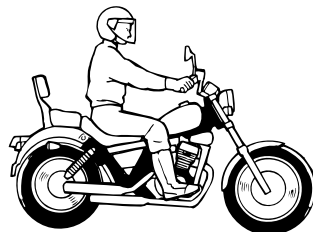
排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。

風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

荷物はしっかり固定する



両手はハンドル、
両足はフットレスト



乗車定員は2名

ただし、免許取得後1年未満の運転者は、
法令により2人乗りはできません。

荷物を積むと、積まないときに比べて操縦安定性が変わります。

荷物はしっかりと固定し積み過ぎないように注意してください。

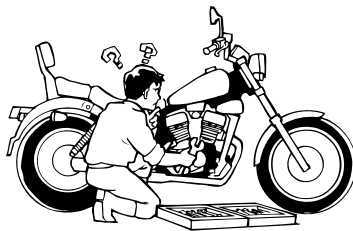
- 運転するときは、両手でハンドルを握り、両足をフットレストにのせます。
- 同乗者には、両手で体をしっかり固定させ、両足を必ずフットレストにのせさせます。

急激なハンドル操作や片手運転は
しない



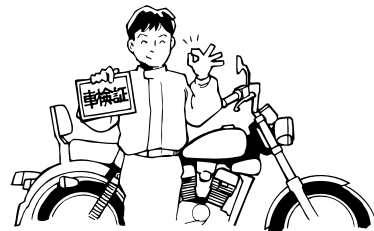
急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。

自己流のエンジン調整、部品の
取り外しはしない



エンジン調整はヤマハ販売店におまかせください。

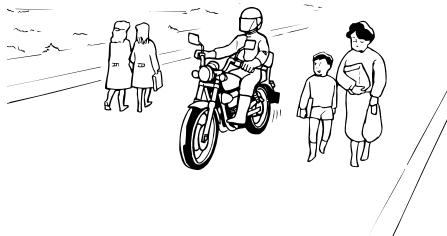
継続検査（車検）は2年ごとに



小型自動車(251cc以上)は国で定める2年ごとの継続検査を受けなければ使用できません。
期間満了前に必ず受けてください。

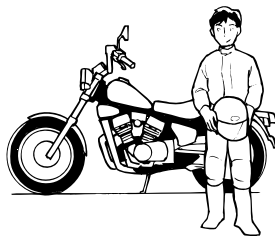
2. 歩行者と他の車のために

他の人への思いやり

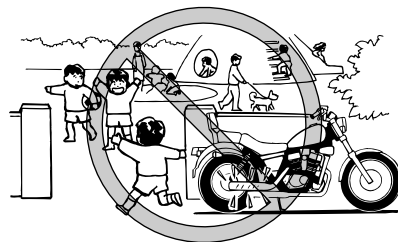


- 交通ルールを守り、まわりの歩行者や車の動きに注意し、相手の立場について思いやりの気持ちをもって通行しましょう。
- 周囲の状況に注意して、安全なスピードで走行してください。
歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な距離を保つか徐行してください。

駐車



- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、メインスイッチキーをお持ちください。また、Pロック、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。
- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。
やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。



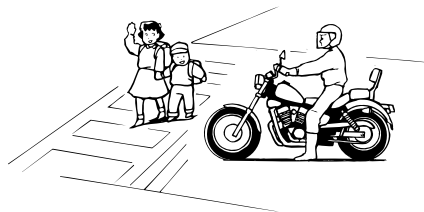
- 車から離れる前に、サイドスタンドが確実にセットされているかを確認してください。

警告

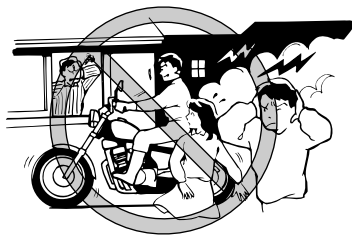
- エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。
また、物などが直接触れないようにしてください。
- 駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。

3.環境・住民の方との調和のために

住民の方への思いやり

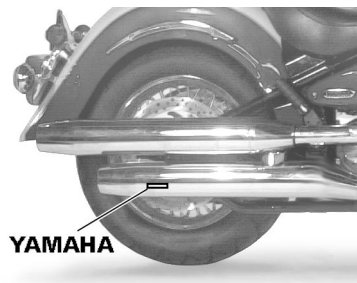


自分の都合だけを考えて、沿道の方に不愉快な騒音などの迷惑をかけないでください。



特に深夜の住宅街や人通りの多い道路などで長時間のアイドリングや急発進などをを行うと、迷惑になりますのでしないでください。

違法改造はしない



違法改造は法律により禁止されています。改造は操縦安定性を悪くしたり、排気音を大きくして車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。

また、改造すると車の保証が受けられません。

なお、ヤマハ純正部品のマフラーには“YAMAHA”マークが刻印されています。



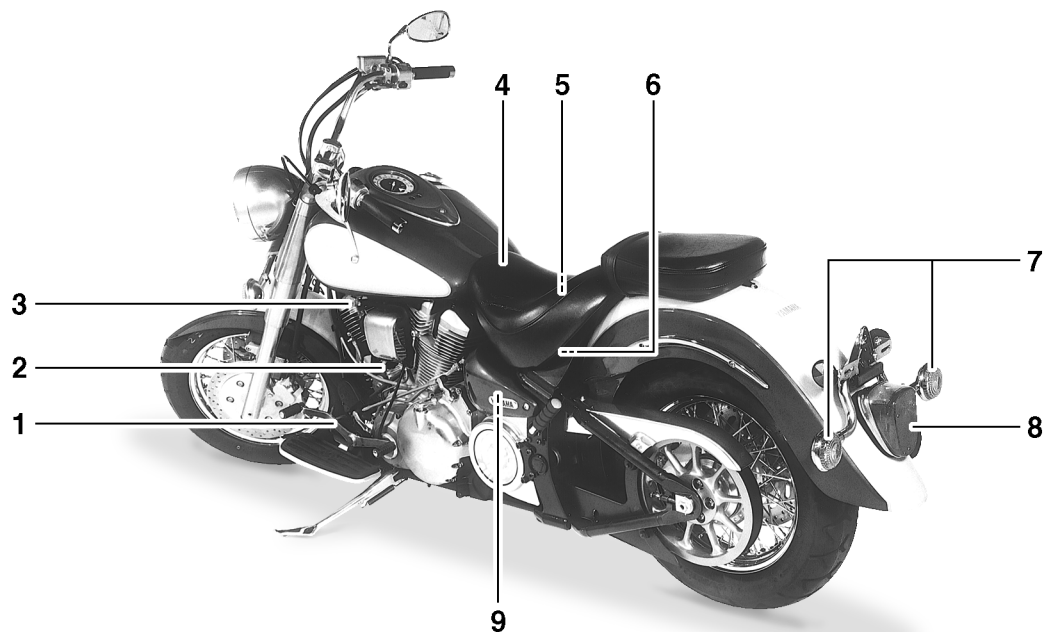
環境への配慮

廃車するときや、バッテリー、廃油などの
廃棄処理をするときは、環境保護のためお
買い上げのヤマハ販売店にご相談くださ
い。

名称と操作

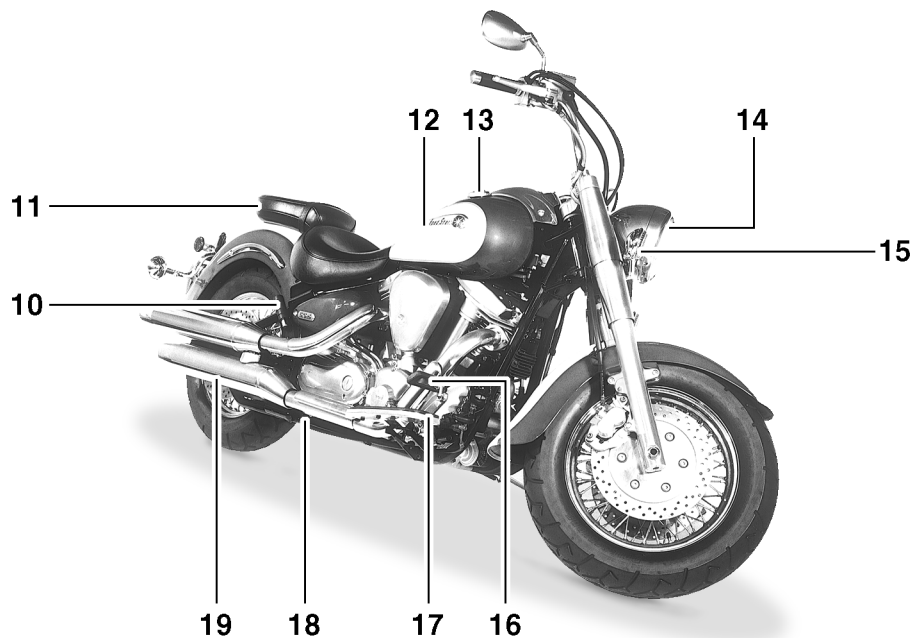
JAU01918

各部の名称



- | | | | |
|-----------------|---------|------------------|---------|
| 1. シフトペダル | (P28) | 6. ヘルメットホルダー | (P22) |
| 2. チョークノブ | (P22) | 7. 方向指示灯 | (P37) |
| 3. フューエルコック | (P20) | 8. テール / ブレーキランプ | (P37) |
| 4. メインシート | (P22) | 9. ヒューズ | (P54) |
| 5. サービスツール、書類入れ | (P23) | | |

各部の名称を示してあります。() 内に参照ページがあるものは、そのページに詳しい説明があります。
(.....部は外からは見えない部分です。)



10. タンデムフットレスト

11. タンデムシート

12. フューエルタンク (P25)

13. フューエルタンクキャップ (P25)

14. ヘッドライト (P37)

15. 方向指示灯 (P37)

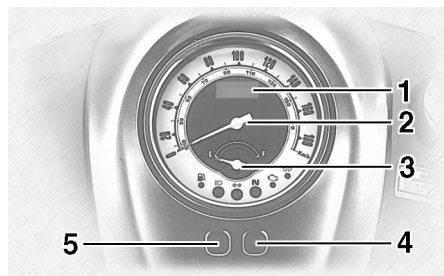
16. 後輪ブレーキペダル (P33)

17. フットレスト

18. リヤサスペンション (P23)

19. マフラー

計器類の見かた



1. オドメーター / トリップメーター / 時計
2. スピードメーター
3. 燃料計
4. リセットボタン
5. セレクトボタン

JAU03047

メインスイッチをONにしたとき、スピードメーターと燃料計の指針が一旦最大値を示しますが、故障ではありません。

JAU01922

スピードメーター

車の速度を指針で示します。



JAU03044

オドメーター / トリップメーター / 時計

メインスイッチをONにすると表示し、OFFにしても設定は記憶しています。表示はセレクトボタンを押して切り替えます。セレクトボタンを1回押すごとに <ODO> → <TRIP A> → <TRIP B> → <ODO> の順に切り替わります。

オドメーター (ODO)

走行した総距離をkmの単位で示します。オイル交換や定期点検整備の目安にもなります。

トリップメーター (TRIP A / TRIP B)

リセットボタンを1秒以上押してメーターを“0.0”にすると、次にリセットするまでの走行距離を積算します。

<TRIP A>と<TRIP B>の設定は、個別にできます。

時計 (CLOCK)

12時間単位で時刻を表示します。

燃料計

ガソリンの残量を示します。

指針が“E”に近づいたら、早めに補給してください。

この燃料計はステッピングモーター駆動方式を採用しているため、以下のような動作をします。

メインスイッチOFF

“E”の指針ストッパー位置まで動き、止まります。

メインスイッチON

“E”～“F”を1往復したあと、メインスイッチをOFFにした時点の残量を表示します。

要 点

- 車速5Km/h以下のときは、5Km/h以上のときに検出した残量を記憶し、表示し続けます。
- 燃料給油後に走行を開始し、車速が5Km/hを超えると給油後の燃料残量を表示します。
(指針が“E”～“F”へ移動するのに、4～5分かかります。)



1. 燃料残量警告灯
2. ヘッドライト上向き表示灯
3. 方向指示器表示灯
4. ニュートラルランプ
5. エンジン警告灯
6. オーバードライブ表示灯

JAU03301

燃料残量警告灯 ()

ガソリンの残量が規定レベル (約3.5L) 以下になると点灯します。

JAU01945

ヘッドライト上向き表示灯 ()

ヘッドライトを上向き点灯すると、表示灯も点灯します。

JAU01944

方向指示器表示灯 ()

方向指示器に合わせて点滅します。

JAU01941

ニュートラルランプ (N)

メインスイッチがONで、ギヤチェンジがニュートラルのときに点灯します。

JAU01957

エンジン警告灯 ()

エンジンに異常が発生すると、点灯または点滅します。点灯（点滅）したときは早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

要 点

警告灯の球切れや回路点検のため、メインスイッチをONにすると1.4秒間点灯します。点灯しないときはヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

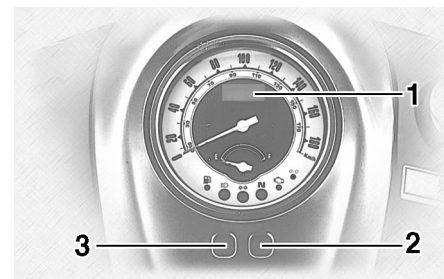
JAU03302

オーバードライブ表示灯 (O/D)

メインスイッチがONで、ギヤチェンジが5速のときに点灯します。

JAU03045

時刻調整のしかた



- 1.時計
- 2.リセットボタン
- 3.セレクトボタン



1. セレクトボタンとリセットボタンを2秒以上同時に押して、時刻調整モードに切り替えます。

時刻調整モードになると時刻が点滅を始めます。

2. セレクトボタンを押すと<時>の表示が点滅します。

3. 調整はリセットボタンで行います。

- 押すごとに数字が1ずつ進みます。
- 押し続けると、連続して数字が進みます。

4. <時>の調整が終わったら、セレクトボタンを押します。

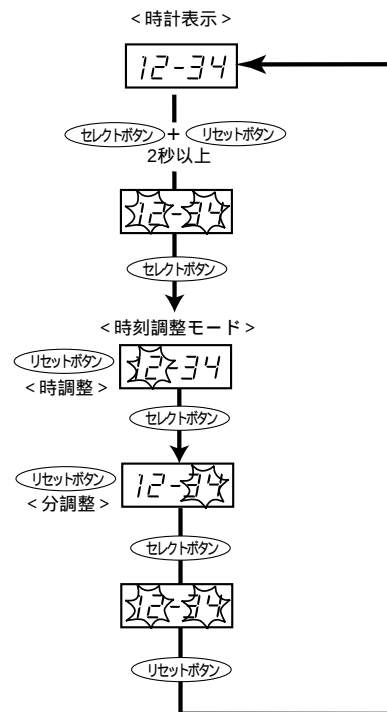
点滅位置が<時>→<分>に変わったら、<時>と同様に<分>を調整します。

5. 調整が終わったら、もう一度セレクトボタンを押すと<時><分>両方が点滅状態になります。

この状態でリセットボタンを押すと、通常の時計表示に戻ります。

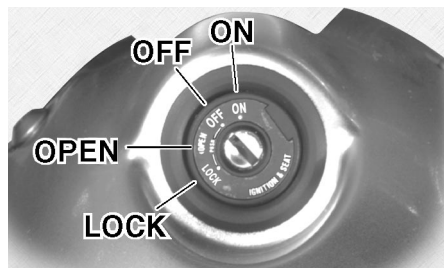


時刻調整は、必ず停車中に行ってください。



メインスイッチ

メインスイッチはエンジンの始動と停止、ブレーキランプや方向指示灯などの電源の「入/切」、ハンドルロック、シートのロック解除を行います。



JAU02023

ON

- エンジンの始動ができます。
- テールランプ、メーター灯が点灯します。
- エンジンを始動させると、ヘッドライトが点灯します。
- キーは抜けません。

要 点

- スタータースイッチを押して、エンジンが始動しないときにもヘッドライトが点灯することがありますが、異常ではありません。
- エンストしてもヘッドライトは点灯しています。
- この車はフューエルポンプを装備しています。メインスイッチをONにしたとき、またはエンジン始動中にフューエルポンプの作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。

JAU02036

OFF

- エンジンを止めます。
エンジンは始動できません。
- キーの抜き差しができます。

JAU02038

LOCK (ハンドルロック)

- ハンドルをロックします。
- キーの抜き差しができます。

JAU02042

警告

走行中にメインスイッチのキーをOFFやLOCKの位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。メインスイッチキーは必ず停車中に操作してください。

JAU02045

注意

- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、メインスイッチキーをお持ちください。
- メインスイッチをONのままにしたり、エンジン始動後アイドル状態を長時間続けると、バッテリーあがりの原因となります。注意してください。

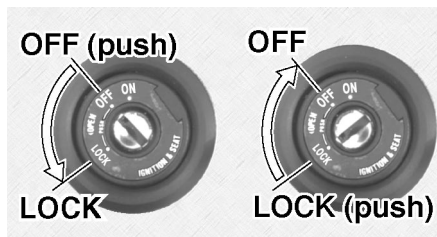
JAU02048

OPEN (シートロックオープナー)

- シートのロックを解除します。
- キーを放すと、キーは自動的にOFFの位置に戻ります。

ハンドルロック

ハンドルロックは駐車時などの盗難予防用です。

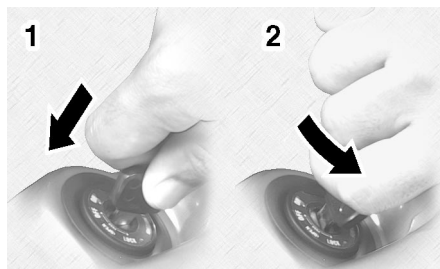


LOCKする

LOCK外す

ロックのしかた

1. ハンドルを左へいっぱいに切ります。
2. OFFの位置でキーを押し込み、そのままLOCKまで回します。



要 点

ロックしにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回します。

3. ハンドルを軽く左右に動かして、ロックを確認します。
4. キーを抜きます。

⚠ 警 告

- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。
やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。
また、物などが直接触れないようにしてください。
- 駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。

⚠ 注 意

盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。

ロックの外しかた

キーをLOCKの位置で押し込み、そのままOFFまで回します。

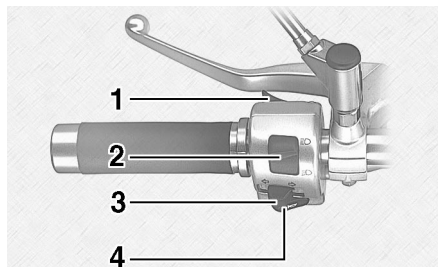
警告

走行前にハンドルを左右に切り、切れ角が左右均等であるかを確認します。



JAU02070

ハンドルスイッチの使いかた



- 1.パッシングライトスイッチ
- 2.ヘッドライト上下切り替えスイッチ
- 3.方向指示器スイッチ
- 4.ホーンスイッチ

JAU02071

パッシングライトスイッチ (≡D)

ヘッドライトの上向きを点灯させるスイッチです。先行車の追い越しなどで、他車に合図をするときに使用します。

要 点

- パッシングライトスイッチは、人差し指で操作してください。
- ヘッドライト上下切替スイッチが ≡D のときは、使用できません。

JAU02072

ヘッドライト上下切り替えスイッチ

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。

≡D (上向き) : 遠くを照らします。

≡D (下向き) : 近くを照らします。

要 点

先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向き ≡D にしてください。

JAU02080

方向指示器スイッチ (◁▷)

進路変更の合図に使用します。

メインスイッチONのときに使用できます。

操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。

消灯するときは、スイッチを押します。

▷: 右側の方向指示灯が点滅します。

◁: 左側の方向指示灯が点滅します。

警告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は必ず消灯してください。点滅したままにしておくと、他の方の迷惑になります。

注意

電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。これ以外のものを使用すると、正常に作動しません。

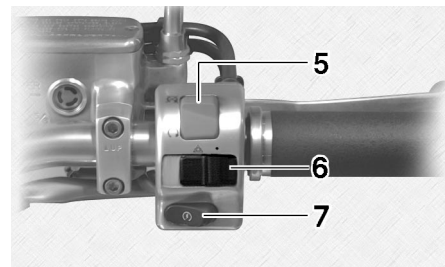
JAU02083

ホーンスイッチ (📢)

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

要 点

必要なときにのみ使用してください。



5. エンジンストップスイッチ

6. ハザードスイッチ

7. スタータースイッチ

JAU02073

ハザードスイッチ (⚠)

故障などの非常時に、他車に知らせるために使用します。

メインスイッチをONにして、ハザードスイッチを⚠にすると、すべての方向指示灯が点滅します。

注意

長時間ハザードスイッチを⚠のままにすると、バッテリーあがりの原因になります。

JAU03217

エンジンストップスイッチ(⌘)

非常時に、エンジンをすぐに停止させるスイッチです。通常は  にしておきます。

▲警告

非常時にエンジンストップスイッチでエンジンを停止させたときは、マフラーやエンジンなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。

▲注意

- 非常時にエンジンストップスイッチでエンジンを停止させたときは、必ずメインスイッチをOFFにしてください。ON のままですと、バッテリーあがりの原因となります。
- 走行中に、エンジンストップスイッチを  →  →  にしないでください。エンジンの回転が不円滑となり、エンジン不調の原因となります

要 点

 にすると、エンジンは始動できません。

JAU03304

スタータースイッチ (⊙)

スターターモーターを回転させ、エンジンを始動させるスイッチです。

▲注意

スターターモーターを連続して回転させないでください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因となります。

要 点

スターターモーターを連続して回転させた場合、デコンプレッソイド保護のため自動的にスターターモーターが停止し、エンジン警告灯が点滅します。

このときは、エンジン警告灯が消灯してからスタータースイッチを押してください。

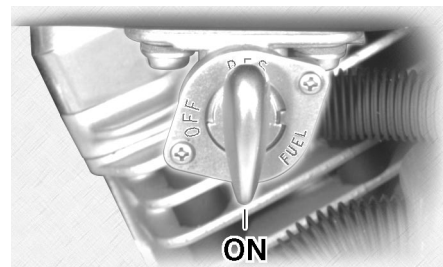
JAU02109

フューエルコック

この車はフューエルポンプを使用しています。エンジンが停止すると自動的にガソリンの流れが止まります。

ON

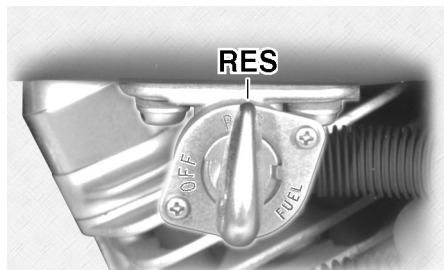
始動および走行時のレバー位置です。



RES

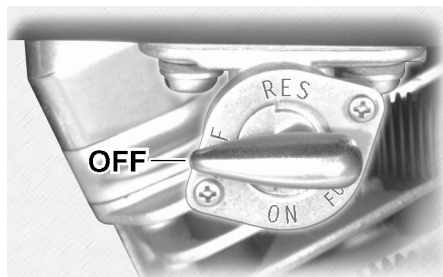
予備燃料（予備容量約3.5L）のレバー位置です。

ONで走行中にガソリンがなくなったら、レバーをこの位置にします。予備燃料が使用できますが早めに給油してください。給油を終えたらレバーをONに戻してください。



OFF

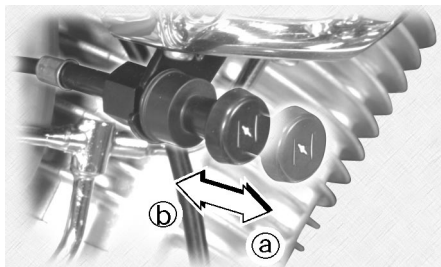
エンジンの点検などでフューエルパイプをフューエルタンクから外すときのレバー位置です。



要 点

- メインスイッチをONにしたとき、またはエンジン始動中にフューエルポンプの作動音が聞こえるときがありますが異常ではありません。
- RESでガソリンがなくなり給油したときは、メインスイッチをONにし、エンジンストップスイッチの○ ❶を5秒以上の間隔で数回繰り返します。キャブレターに早くガソリンが流れ、給油後の始動が容易になります。

チョークノブ



a 引く
b 戻す

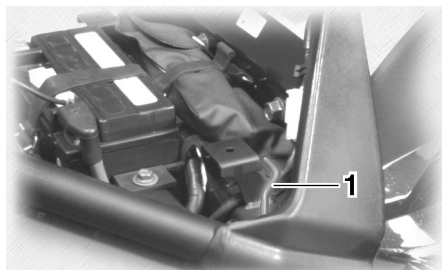
エンジンが冷えているときは、チョークノブを引くと始動が容易になります。
エンジンが始動したら、20～30秒後にチョークノブを半分ぐらい戻します。
エンジンが充分暖まったら、チョークノブをいっぱいまで戻します。

▲注意

走行するときは、必ずチョークノブを戻してください。

ヘルメットホルダー

メインスイッチキーでシートロックを外し、シートを外します。
ヘルメットのアゴひもの金具部分を掛け、シートを取り付けます。



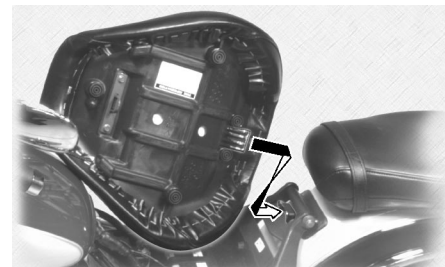
1.ヘルメットホルダー

▲警告

ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。ヘルメットが運転を妨げ、思わぬ事故の原因になったり、車の部品に損傷を与えたり、またヘルメットにも損傷を与え保護機能を低下させます。

シートの取り付けかた

シート後方のストッパーを車体のフックに入れ、シートを上から押さえてロックします。



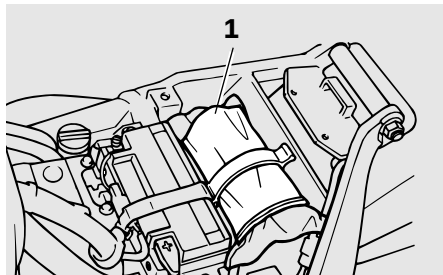
要 点

シートが正しく取り付けられているか確認してください。

書類入れ

シートを外すと書類入れ（収納用ポーチ）があります。

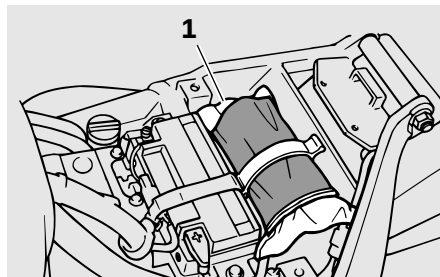
車検証、保険証、メンテナンスノートはビニール袋に入れ、サービスツールの外側に巻いてゴムバンドで固定してしてください。



1.書類入れ

サービスツール

シートを外すと、ゴムバンドで固定されたサービスツールがあります。



1.サービスツール

サスペンションセッティング

各自の好みや路面、走行状況に応じて調整ができます。

リヤクッション

リヤクッションのセッティングには、スプリングの取付荷重の調整があります。

警告

クッションユニットには高圧チツ素ガスを封入してありますので、下記のことを厳守してください。

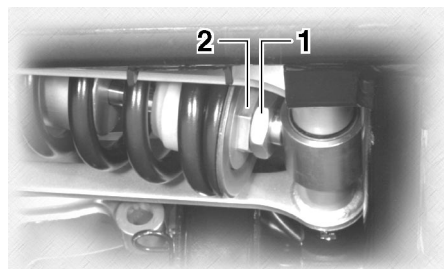
- 分解しない。
- 火気の中に投げ込まない。
- 廃棄するには、ガス抜きが必要です。必ずお買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。

JAU02314

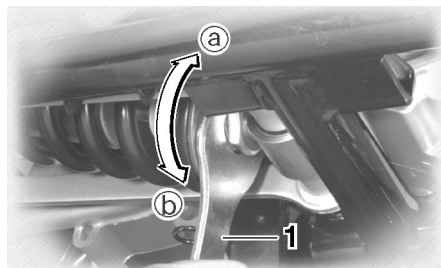
スプリングの取付荷重の調整

ロックナットをゆるめ、アジャスターを回すと、スプリングの取付荷重を調整することができます。

ご自身でできないときは、ヤマハ販売店にご相談ください。

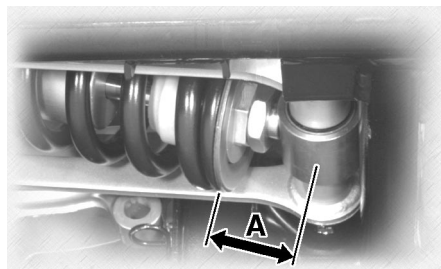


- 1. ロックナット
- 2. アジャスター



- 1. レンチ
- a ハード
- b ソフト

スプリングセット長



A. スプリングセット長

1名標準値	42.5mm
調整範囲	42.5mm (ソフト) - 51.5mm (ハード)

注意

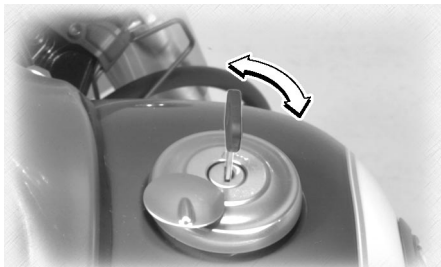
- 調整後、ロックナットを確実に締め付けます。
- アジャスターの調整範囲を超えて回さないでください。

警告

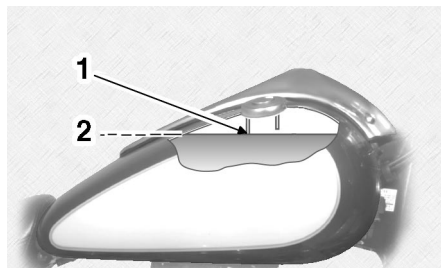
調整するときに異常がありましたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ガソリンの給油

1. キーカバーを開けます。
2. メインスイッチキーを差し込み、時計方向に回してフューエルタンクキャップを開けます。



3. ガソリンを給油します。
ガソリンは、注入口にあるフィラープレート下部より上に入れないでください。



1. フィラープレート下部
2. 給油限度
4. 給油後は、手で押さえてフューエルタンクキャップを確実に閉めます。
5. メインスイッチキーを抜き、キーカバーを閉めます。

要 点

メインスイッチキーを抜き取ると、フューエルタンクキャップを閉めることはできません。
また、フューエルタンクキャップを正しく閉めないと、キーを抜き取ることができません。

タンク容量：約20L（予備容量含）
使用燃料：無鉛プレミアムガソリン

警告

- ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。
- ガソリンをフィラープレート下部より上に入れないでください。
走行中にガソリンがにじみ出ることがあり危険です。
給油限度を守って給油してください。
- フューエルタンクキャップは確実に閉めてください。

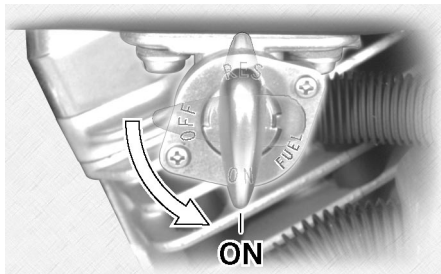
注意

- こぼれたガソリンは、布きれなどできれいにふき取ってください。
- タンクにゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。

エンジンのかけかた

エンジンをかける前に

1. フューエルコックをON（あるいはRES）にします。



2. メインスイッチをONにします。
3. エンジンストップスイッチが  が確認します。
4. ギヤチェンジをニュートラルにします。（ニュートラルランプが点灯します。）

警告

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。

風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

要 点

この車には、エンジン始動時の飛び出しを防止するクラッチスイッチと、発進時のサイドスタンドの格納忘れを防止するサイドスタンドスイッチが装備されています。

- サイドスタンド格納時は、ギヤチェンジがニュートラルを除き、クラッチレバーを握らなければエンジンは始動できません。
- サイドスタンド使用時は、ギヤチェンジをニュートラルにしないとエンジンは始動できません。

JAU02400

エンジンが冷えているとき

1. チョークノブをいっぱいに引きます。



2. スロットルグリップを戻します。
3. スタータースイッチを押します。
4. エンジンが始動したら、20～30秒後にチョークノブを半分ぐらい戻して暖機運転を行います。
5. エンジンが充分暖まり、エンジンの回転が安定したらチョークノブを元に戻します。

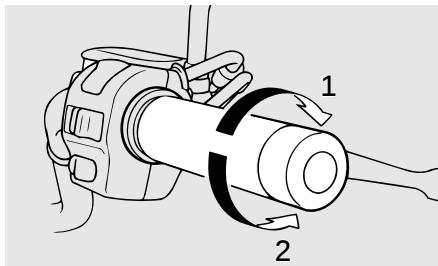
要 点

スタータースイッチで5秒以内にエンジンが始動しないときは、バッテリー電圧を回復させるため、10秒位休ませてから押し直してください。

JAU02414

エンジンが暖まっているとき

1. スロットルグリップを手前に少し回し、スタータースイッチを押します。



1. 戻す
2. まわす

2. エンジンが始動したらスロットルグリップを戻します。

JAU02430

4～5回スタータースイッチを押しても始動しないとき

チョークノブを元に戻し、スロットルグリップをいっぱいの開けると始動しやすくなります。

▲注 意

エンジンが始動したら、スロットルグリップをすばやく戻してください。

JAU02432

エンジンの止めかた

メインスイッチキーをOFFにするとエンジンが止まります。

走りかた

1. サイドスタンドを確実に格納します。

⚠ 警 告

- サイドスタンドを出したまま走行すると、スタンドが地面に接触して運転操作に支障をきたすことがあります、たいへん危険です。
この車には発進時のサイドスタンドの格納忘れを防止するサイドスタンドスイッチが装備されています。発進時には必ず格納してください。
- 走行中にサイドスタンドを操作するとエンジンが停止し、思わぬ事故の原因となります。走行中はサイドスタンドを操作しないでください。

⚠ 注 意

サイドスタンドがスムーズに作動しないときは、取付部に注油してください。

2. クラッチレバーを握り、シフトペダルでギヤチェンジを 1 速に入れ、静かに発進します。

要 点

サイドスタンドが確実に戻っていないときギヤチェンジをすると、サイドスタンドスイッチによりエンジンが停止します。

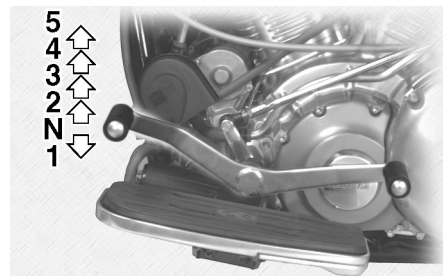
3. 車のスピードに応じてギヤチェンジをします。

⚠ 警 告

走行中に異常を感じたときは、すぐにヤマハ販売店にて点検・整備を受けてください。

ギヤチェンジのしかた

この車はリターン式の 5 段変速です。
ギヤチェンジは、スロットルグリップを一度戻してからクラッチレバーを握り、シフトペダルで操作します。

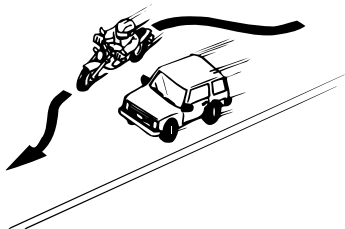


⚠ 注 意

- シフトペダルは、足ごたえがあるまで確実に操作してください。
- クラッチレバーを確実に握らずにギヤチェンジしたり、無理なギヤチェンジは、チェンジ機構の故障の原因になります。

シフトダウンのしかた

追い越しや登坂時などにシフトダウン（低速ギヤにチェンジ）をすると、強力な加速力および登坂力が得られます。なお、高速で急激なシフトダウンを行うと、エンジンの回転が上がりすぎてエンジンやミッションに悪影響を与えます。



⚠ 警告

急激なシフトダウンは走行安定性をそこない、転倒などの原因となりますのでしないでください。

⚠ 注意

ギヤチェンジは必ずクラッチレバーをいっばいに握って行ってください。
クラッチレバーをいっばいに握らずに強引なギヤチェンジを行うと、エンジントラブルの原因となります。

ならし運転のしかた

初回 1 か月目（または1,000km走行まで）の点検までは、ならし運転をしてください。また、不要なからぶかしや急加速、急減速はしないでください。
ならし運転を行うと車の寿命を延ばします。

ブレーキの使いかた

- ブレーキは前後輪同時にかけてください。
- 不要な急ブレーキはかけないでください。
急ブレーキをかけると、横すべりや転倒の原因となるときがあります。



警告

雨の日や水たまりを走行した後は、ブレーキのききが悪くなることがあります。ききが悪いときは、安全な場所で前後の車に充分注意し、低速で走行しながらききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させ、ブレーキの湿りをかわかしてください。

要点

- 前輪または後輪ブレーキだけを使うと、横すべりや転倒の原因となるときがあります。必ず前後のブレーキを同時にかけてください。
- 雨の日や路面がぬれているところ、雪道や凍った道路では、滑りやすく制動距離も長くなります。速度を落として、余裕をもった運転をしてください。
- 長い下り坂などで連続してブレーキを使用すると、フェード現象の原因となります。このようなときは、エンジンブレーキと断続的なブレーキ操作で走行してください。

要点

フェード現象

- ブレーキ部の温度が上昇すると、ブレーキのききが悪くなるか、まったくきかなくなる現象。

エンジンブレーキ

- 走行中、スロットルグリップを戻したときにかかる制動力で、低速ギヤほどエンジンブレーキがききます。

エンジンの非常停止

何らかの原因でエンジンのコントロールができなくなると、きわめて危険な状態になります。

このような非常時にメインスイッチでエンジンを停止できないときは、エンジンストップスイッチを  にしてください。ハンドルから手をはなすことなく、直ちにエンジンを停止することができます。

日常点検

JAU02377

日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、道路運送車両法で、1日1回の日常点検を行うことが義務づけられています。必ず実施してください。

▲警告

- 日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。
- 異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

要 点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

JAU02486

日常点検箇所 / 点検内容

詳しい点検の方法は、次頁以降の日常点検の方法および別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降を参照してください。

点 検 箇 所	点 検 内 容
ブレーキ	● ブレーキペダルの踏みしろおよびレバーの握りしろが適切で、ブレーキのききが充分であること。 ● ブレーキ液の量が適当であること。
タイヤ	● タイヤの空気圧が適当であること。 ● 亀裂、損傷がないこと。 ● 異常な摩耗がないこと。 ● 溝の深さが充分あること。
エンジン	エンジンオイルの量が適当であること。 かかり具合が良好で、かつ、異音がないこと。 低速、加速の状態が適当であること。
灯火装置 および方向 指示灯	点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行にお いて異常 が認めら れた箇所	当該箇所に異常がないこと。

（注）

印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（長距離走行時や洗車、給油後など）に実施をしてください。

▲警告

点検するときには下記の内容に注意してください。

- 点検は平坦で足場のしっかりした場所を選んで行ってください。
- エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。
ヤケドに注意してください。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。
- 走行して点検するときには、交通状況に注意してください。

日常点検の方法

ブレーキレバーの握りしろ /
ブレーキペダルの踏みしろ、
およびブレーキのきき具合の点検

JAU02496

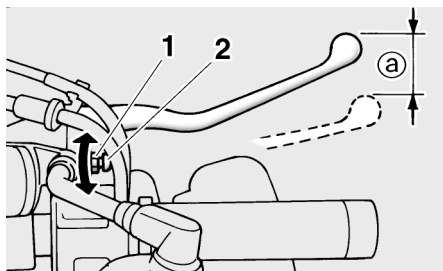
ブレーキの遊びの点検

<前輪ブレーキ>

ブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じる
までのレバー先端部の遊びが規定の範囲に
あるかを点検します。

遊びは2～5mm

(ブレーキレバーの遊びの調整は44ページ
参照)



1. ロックナット

2. アジャスター

a ブレーキレバーの遊び

<後輪ブレーキ>

ブレーキペダルは無調整式です。ブレーキ
ペダルを手で押し、手ごたえがあるかどう
かを確認します。



⚠ 警告

ブレーキレバーの引き具合、ブレーキペダ
ルの踏み具合がやわらかく感じられるとき
は、エアが混入しているおそれがあります。
ヤマハ販売店で点検・整備を受けてくださ
い。

JAU02502

ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、前輪ブレーキ、後輪
ブレーキを別々に作動させたときのきき具
合を点検します。

ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ
販売店で点検・整備を受けてください。

⚠ 警告

走行して点検するときは、交通状況に注意
し、低速で走行しながら行ってください。

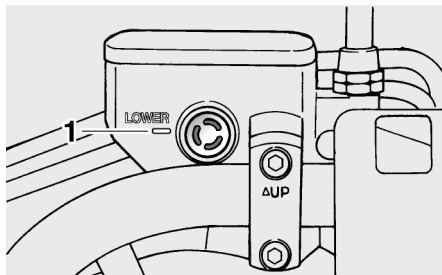
JAU02504*

ブレーキ液量の点検

マスターシリンダーキャップ上面を地面と平行にして、ブレーキリザーバータンク内の液量がロアレベル以上にあるかを点検します。

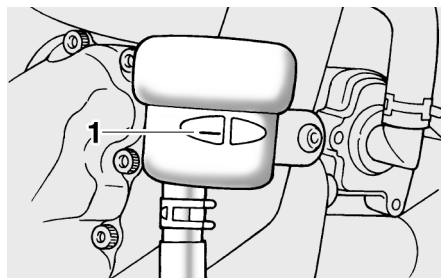
(ブレーキ液の補給は、45ページ参照)

< 前輪ブレーキ >



1. ロアレベル

< 後輪ブレーキ >



1. ロアレベル

⚠ 警告

ブレーキ液の減りが著しいときは、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。
ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

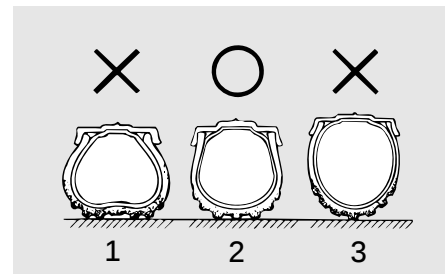
JAU02506

タイヤの空気圧

タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が適正かを点検します。

たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。

(タイヤ空気圧は52ページ参照)

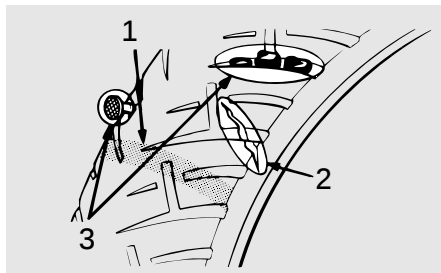


- 1. 不足
- 2. 適正
- 3. 過多

JAU02507

タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷、および釘、石、その他の異物が刺さっていないかを点検します。



1. ウェアインジケーター（摩耗限度表示）
2. 亀裂
3. 異物（釘、石）

JAU02509

タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

JAU03272

タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。タイヤに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

▲ 警 告

タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

要 点

- ウェアインジケーターはタイヤの溝が 0.8 mm になるとあらわれます。
- より安全な走行のため、溝の深さが前輪 1.6 mm、後輪 2.0 mm 以下になりましたらタイヤの交換をおすすめします。

JAU02534

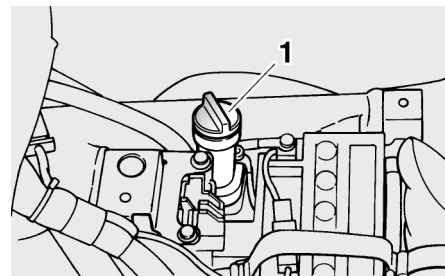
エンジンオイル量の点検

1. 平坦な場所でエンジンを始動し、5～10 分間アイドリング運転します。

要 点

走行直後でエンジンを十分に暖機してあれば、アイドリング運転は不要です。

2. 車を垂直にして、10 秒間アイドリング運転します。

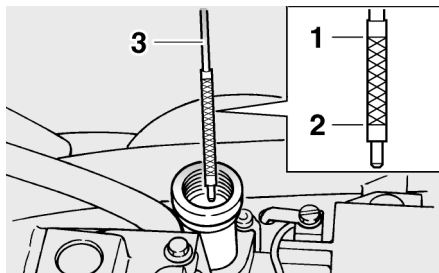


1. オイルフィルターキャップ

3. エンジンを止めて1～2分後、シートを外してエンジンオイルがオイルレベルゲージの規定範囲内にあるか点検します。

(オイルレベルゲージはねじ込まないで点検します。)

オイルが不足しているときは、48ページを参照して補給してください。



- 1.フルレベル
- 2.ロアレベル
- 3.オイルレベルゲージ

警告

エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。

ヤケドに注意してください。

JAU02540

エンジンのかかり具合、異音の点検

エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。

アイドリング時に異音がないかを点検します。

JAU02541

低速、加速の状態の点検

暖機運転後に、アイドリングがスムーズに続くかを点検します。

スロットルグリップを徐々に回してエンジンを加速したとき、スロットルグリップもエンジンもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき、エンジンストップ(エンスト)やノッキングなどが起きたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02544

灯火装置および方向指示灯の点検

1. メインスイッチをONにします。
2. テールランプ、ブレーキランプなどの灯火装置や方向指示灯の点灯・点滅具合が良好かを点検します。
3. エンジンを始動し、ヘッドライトが良好かを点検します。
4. レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

点灯しないときはヒューズを点検（54ページを参照）し、異常がないときは電球を交換（59ページを参照）してください。

注 意

電球は、正規の規格と同じものと交換してください。これ以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

JAU02552

運行において異常が認められた箇所の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。

定期点検整備

JAU03279

定期点検整備の実施

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、6 か月点検と 1 2 か月点検の 2 種類があります。

▲ 警 告

- 定期点検整備を怠ると重大な事故、ケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。
- 異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

要 点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。(モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。)

JAU02555

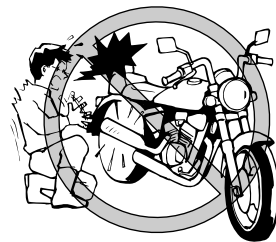
定期点検整備の方法

定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。

実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

要 点

- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。



▲ 警 告

点検するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- 点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。
- エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。
- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。

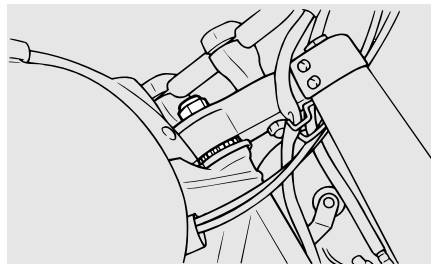
風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

- 走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。
- 異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。

JAU02557

アンダーブラケットの取り付け状態の点検（ステアリングシステム）

アンダーブラケットの締付ボルトまたは締付ナットに、ゆるみがないかを工具で点検します。



締付ボルトまたは締付ナットにゆるみがあるときは、ヤマハ販売店で規定トルクでの締め付けを依頼してください。

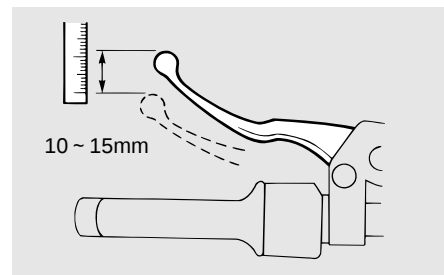
JAU02559

クラッチレバーの遊びの点検

クラッチレバーを手で抵抗を感じるまで引き、レバー先端部の遊びの量が規定の範囲にあるかをスケールなどで点検します。

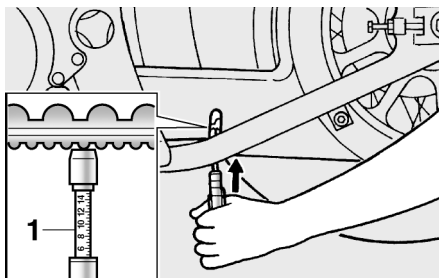
遊びは10～15mm

（クラッチレバーの遊びの調整は47ページ参照）

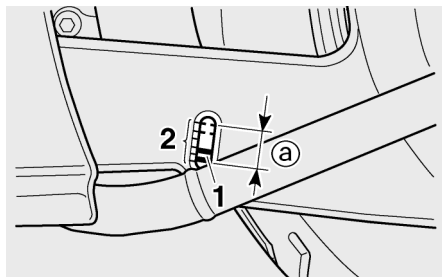


ドライブベルトの点検

1. サイドスタンドを立てます。
2. 点検窓からベルトテンションゲージを使って、ベルトのたるみ量が規定の範囲にあるかを点検します。



1. ベルトテンションゲージ（別売）



1. ドライブベルト
2. 目盛り（1目盛5mm）
- a たわみ量

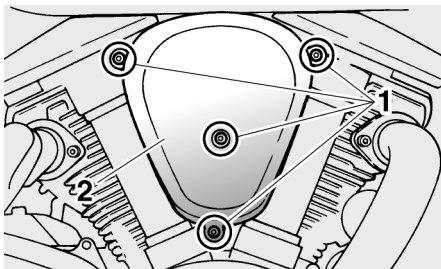
3. ベルトテンションゲージの値が45N（4.5kg）のとき、たわみ量が7.5mm～13mmの間なら正常です。
4. リヤホイールを浮かし、タイヤを手でゆっくり回しながらドライブベルトが滑らかに回転するかを点検します。
（ドライブベルトの調整は、50ページ参照）

エアクリーナーエレメントの点検

エレメントを取り出し、汚れによる詰まりなどを点検します。
ほこりなどが著しく多い場所を走行したときは、定期点検期間より早めに点検・清掃を行ってください。

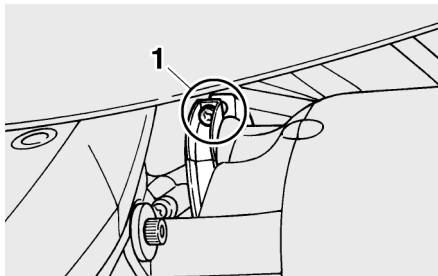
エアクリナーエレメントの 取り外し

1. エアクリナーケース取付ボルトを外します。



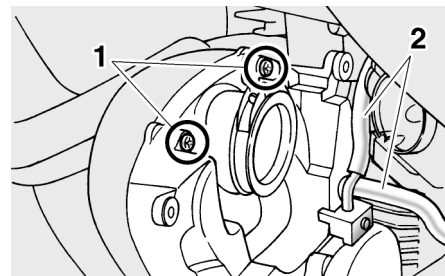
1. エアクリナーケース取付ボルト (×4)
2. エアクリナーケースカバー

2. エアクリナージョイントスクリューをゆるめてエアクリナーケースを外します。



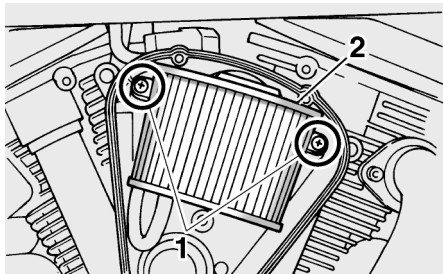
1. エアクリナージョイントスクリュー

3. エアクリナーケースカバー取付スクリューを外します。
4. ホースを外します。



1. エアクリナーケースカバー取付スクリュー (×2)
2. ホース (×2)

5. エアクリーナーエレメント取付スクリ
ューを外して、エアクリーナーエレメ
ントを外します。



- 1.エアクリーナーエレメント取付スクリ
ュー (×2)
2.エアクリーナーエレメント

JAU02630

エアクリーナーエレメントの 取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行いま
す。
(エレメントの清掃方法は、50ページ参照)

JAU02635

車体各部の給油脂状態の点検

車体各部の給油脂状態が充分であることを点
検します。
異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・
整備を受けてください。

JAU02643

バッテリーの点検

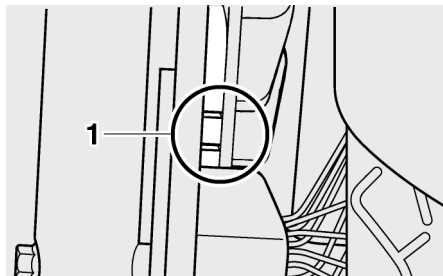
この車のバッテリーは密閉式です。
バッテリー液の補充、点検は不要です。
バッテリーに異常があるときは、ヤマハ販
売店で点検・整備を受けてください。

ブレーキパッドの点検

ブレーキパッドのインジケーター溝の深さで摩耗の状態を点検します。

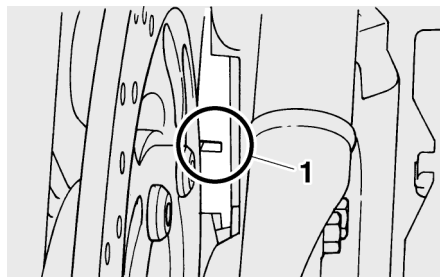
インジケーター溝がなくなったら、ヤマハ販売店でブレーキパッドを交換してください。

<前輪ブレーキ>



1.インジケーター溝

<後輪ブレーキ>



1.インジケーター溝

やさしい整備

JAU03281

やさしい整備

点検をして車に異常が認められたときには、調整、清掃、交換などの整備が必要です。ここでは、通常行われることが多い簡単な整備方法を説明しています。

▲ 警 告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせて範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。

点検・整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- 点検・整備は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。
- エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。

- 排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。
- 走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。

要 点

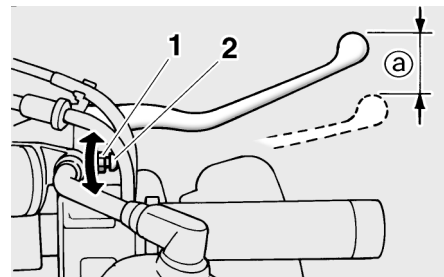
点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

JAU02673

ブレーキの遊びの調整

< 前輪ブレーキ >

ブレーキレバー先端部の遊びが2～5mmになるように、ロックナットをゆるめてアジャスターで調整します。



1. ロックナット
 2. アジャスター
- a ブレーキレバーの遊び

▲ 注 意

調整後、ロックナットを確実に締め付けます。

ブレーキ液の補給

警告

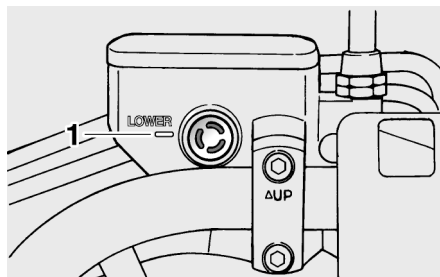
ブレーキ調整後は、必ずブレーキランプの点灯と、ブレーキの引きずりがいないかを確認してください。

<後輪ブレーキ>

後輪ブレーキは無調整式です。

<前輪ブレーキ>

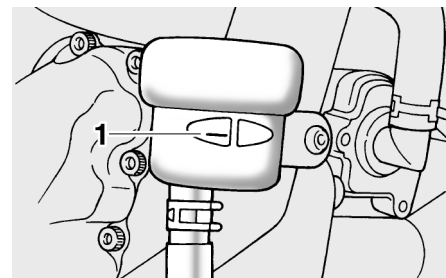
1. リザーバートankまわりをきれいにし、異物がタンク内に入らないようにします。
2. スクリューを外し、キャップとダイヤフラムを取り外します。
3. ブレーキ液をロアレベル以上補給します。
4. ダイヤフラムのかみ込みに注意して、スクリューでキャップを取り付けます。



1.ロアレベル

<後輪ブレーキ>

1. リザーバートankまわりをきれいにし、異物がタンク内に入らないようにします。
2. ホルダーを外し、キャップとダイヤフラムブッシュ、ダイヤフラムを取り外します。
3. ブレーキ液をロアレベル以上補給します。
4. ダイヤフラムのかみ込みに注意してキャップを取り付け、ホルダーで固定します。



1.ロアレベル

指定ブレーキ液：

ヤマハ純正ブレーキフルード<DOT4>

ブレーキランプスイッチ

⚠ 警 告

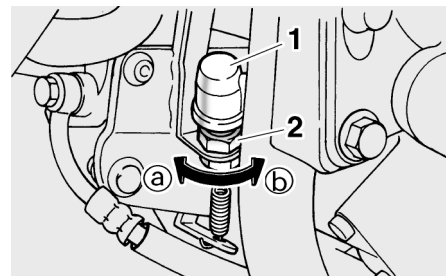
- ブレーキ液は、銘柄や性能が異なるものを混入しないでください。
銘柄や性能が異なるブレーキ液を混入すると、ブレーキのきき具合やブレーキ系統の部品に悪影響を与え、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ブレーキ液を補給するときは、リザーバータンク内にゴミや水が混入しないようにしてください。
- 液面はブレーキパッドの摩耗と共に下がってきます。
液が早く減少するようでしたら、お買い上げのヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。
- ブレーキ液は安全のために 1 年毎の交換をおすすめします。

⚠ 注 意

- ブレーキ液の補給は、入れすぎに注意してください。入れすぎると、ダイヤフラムなどを取り付けたときに、あふれます。
- ブレーキ液が塗装面やプラスチック、ゴム類に付着すると部品が腐食することがあります。付着したら、すぐにふき取ってください。

ブレーキがきき始める直前にブレーキランプが点灯するか点検します。

リヤブレーキランプスイッチの調整は、スイッチを指で押さえ、アジャスターを回して行います。



1. ブレーキランプスイッチ

2. アジャスター

a 早く点灯

b 遅く点灯

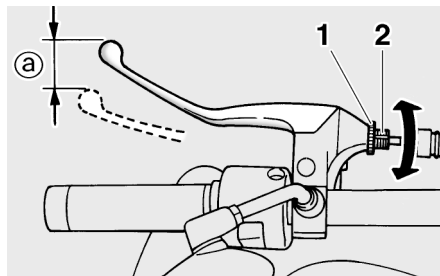
⚠ 注 意

リヤブレーキランプスイッチを調整するときは、スイッチ本体を回さないでください。スイッチ本体を回すと、リード線を傷付けます。

クラッチレバーの調整

フロントブレーキをかけたときもブレーキランプが点灯するか点検します。
異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

レバー先端部の遊びが10～15mmになるように、ロックナットをゆるめてアジャスターで調整します。



- 1. ロックナット
- 2. アジャスター
- a クラッチレバーの遊び

警告

調整後、エンジンをかけてギヤチェンジがスムーズにできるか、エンストなどしないかを確認してください。
なお、車の飛び出しに注意してください。

注意

- 調整後は、ロックナットを確実に締め付けます。
- 1か月に一度はクラッチケーブルの取り付け部に注油をしてください。ケーブルの寿命が伸びます。

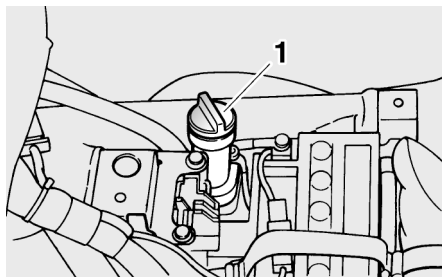
エンジンオイルの補給

- 平坦な場所でエンジンを 5 ～ 10 分間アイドリング運転します。

要 点

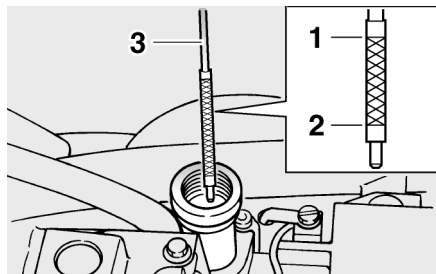
走行直後でエンジンを十分に暖機してあれば、アイドリング運転は不要です。

- 車を垂直にして、さらに 10 秒間アイドリングします。
- エンジンを止めて 1 ～ 2 分後、オイルレベルゲージでオイル量を点検します。



1. オイルフィルターキャップ

- オイルレベルゲージ（ねじ込まない）でオイル量を確認し、規定量以下のときはオイル注入口から補給します。

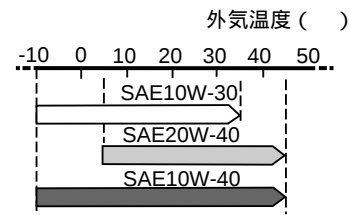


- フルレベル
- ロアレベル
- オイルレベルゲージ

<推奨エンジンオイル>

	SAE規格	API 分類
ヤマハ純正オイル エフェロSJ	10W-40	SJ
ヤマハ純正オイル エフェロSG	10W-40	SG
ヤマハ純正オイル エフェロSF	20W-40または 10W-30	SF

エンジンオイルの粘度は、外気温によって下表を参考にして使いわけてください。



エンジンオイルの交換時期

	エンジンオイル	オイルフィルター
初回	1 か月点検時 または1,000km時	1 か月点検時 または1,000km時
以降	6,000km走行毎 または1年毎	18,000km走行毎

⚠ 警 告

- 走行後やエンジン暖機運転後しばらくの間はマフラー、エンジンなどが熱くなっています。
ヤケドに注意してください。
- 油脂類の廃液は法令（公害防止条例）で適切な処理を行なうことが義務づけられていますので、ヤマハ販売店へご相談ください。

⚠ 注 意

- 化学添加剤は一切加えないでください。
エンジンオイルはクラッチも潤滑していますので、添加剤がクラッチのすべりの原因となります。
- 補給時にオイル注入口からゴミなどが入らないよう注意してください。
- オイルをこぼしたときは布などでよくふきとってください。

トランスファーオイルの交換時期

交換時期

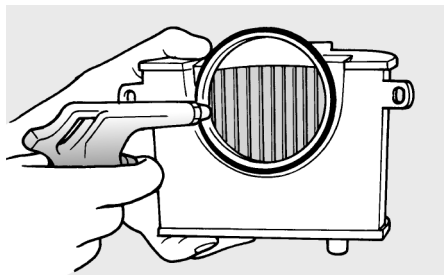
初回：1 か月点検時または1,000km走行時
2 回目以降：10,000km走行毎

推奨オイル：

ヤマハドライブシャフトオイル

エアクリーナーエレメントの清掃

1. エアクリーナーエレメントを取り外します。
(41ページ参照)
2. エレメントを軽くたたいて、ゴミ、ホコリを落とし、エアをイラストのように吹きつけて清掃します。



3. エレメントをエアクリーナーケースに取り付けます。

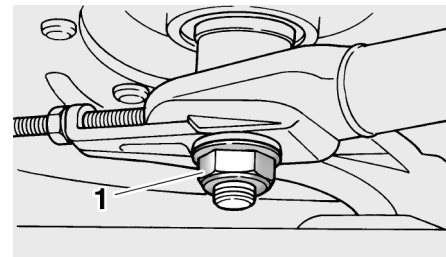
▲注 意

- 破れなどのあるものは交換してください。
- エアクリーナーエレメントに水や油などをつけないでください。水や油などが付着して汚れているものは交換してください。
- エアクリーナーエレメントの取り付けが悪いと、ゴミやホコリがエンジン内部に入り、摩耗や出力低下を起こして耐久性に影響を与えます。確実に取り付けてください。
- 洗車時にエアクリーナーケースに水を入れないでください。内部に水が入ると、始動不良などの原因になります。
- 著しくほこりなどの多い場所を走行したときは、定期点検期間より早めに点検、清掃を行ってください。

ドライブベルト

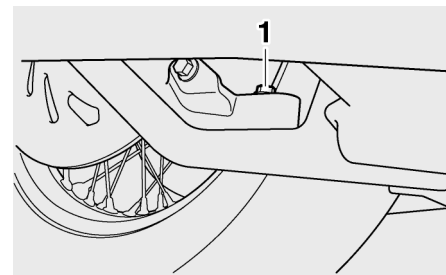
調整方法

1. セルフロックングナットをゆるめます。



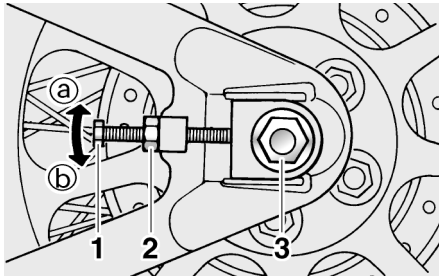
1. セルフロックングナット

2. キャリパーブラケット取付ボルトをゆるめます。



1. キャリパーブラケット取付ボルト

3. ロックナットをゆるめます。
4. アジャスターにて左右均等に締め込みます。



1. アジャスター
2. ロックナット
3. リヤホイールアクスル
- a ゆるむ
- b 張る

5. 張り具合が規定値になるように調整します。(40ページ参照)

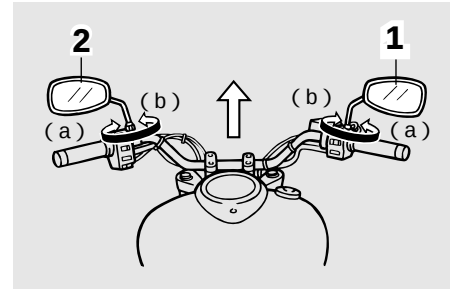
▲注意

ドライブベルトのたわみ量が少なすぎると、エンジンに負荷がかかって故障の原因になります。たわみ量は規定値内に調整してください。

6. 調整後、ロックナットとキャリパーブラケット取付ボルト、セルフロックングナットを確実に締め付けます。

バックミラー

バックミラーの取り付け及び 取り外しかた



1. 右バックミラー
2. 左バックミラー

- 右バックミラーは左ネジです。
左：反時計回り (a) に回すと締まります。
右：時計回り (b) に回すとゆるみます。
- 左バックミラーは右ネジです。
右：時計回り (a) に回すと締まります。
左：反時計回り (b) に回すとゆるみます。

タイヤ

空気圧

空気圧はタイヤの冷えているときに測定してください。

		前 輪	後 輪
タイヤ 空気圧	1 名乗車	250kPa (2.50kg / cm ²)	250kPa (2.50kg / cm ²)
	2 名乗車	250kPa (2.50kg / cm ²)	280kPa (2.80kg / cm ²)
	高速走行	250kPa (2.50kg / cm ²)	280kPa (2.80kg / cm ²)
タイヤサイズ		130/90-16 67H	150/80B16 71H
指定 タイヤ	ダンロップ	D404FL	D404
	ブリヂストン	G703F	G702

JAU02769

溝の深さ

安定したコーナリングや操縦性などを確保して安全な走行を行うため、タイヤの溝には充分注意してください。一般的に二輪車のタイヤは溝の深さが前輪 1.6 mm、後輪 2.0 mm 以下になりましたら交換をおすすめします。

⚠ 警 告

異なった種類のタイヤや指定サイズ以外のタイヤを使用することは、車の安全走行に悪影響がありますので使用しないでください。

バッテリー

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、バッテリーを取り外して清掃します。

⚠ 警 告

バッテリーは引火性ガス（水素ガス）を発生しますので、取り扱いを誤ると爆発、ケガをすることがあります。次の点を必ず守ってください。

- 火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。爆発のおそれがあります。
- 補充電は風通しのよいところで行ってください。
- ガソリン、油、有機溶剤などを付着させないでください。電そう割れの原因となることがあります。
- 落下などの強い衝撃を加えないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。
- 子供の手の届くところに置かないでください。

応急手当

- 万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときは、すぐに多量の水で洗い流してください。
- 目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

⚠ 注 意

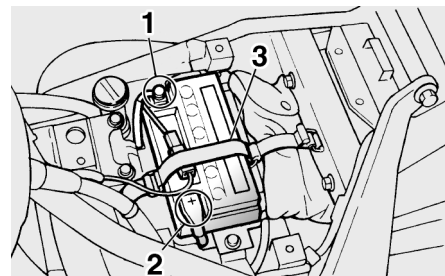
このバッテリーは密閉式の12Vです。

- このバッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。
- 補充電には、密閉式バッテリー専用充電器を使用してください。くわしくはヤマハ販売店にご相談ください。
- 長期間ご使用にならないときは、6か月ごとに補充電してください。
- バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。

JALU02774

バッテリーの取り外し

1. シートを取り外します。
2. バッテリーバンドを外します。
3. ⊖（マイナス）側リード線を外し、次に⊕（プラス）側リード線を外します。
4. バッテリーを取り外します。



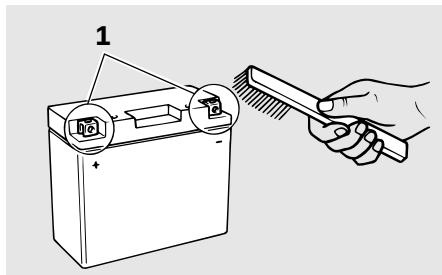
1. マイナスリード線
2. プラスリード線
3. バッテリーバンド

バッテリーの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

ターミナル部の清掃

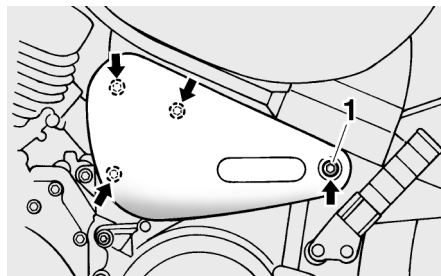
バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、やわらかいブラシなどで清掃します。また、白い粉がついているときは、ぬるま湯を注いでよくふき取ります。



1.ターミナル

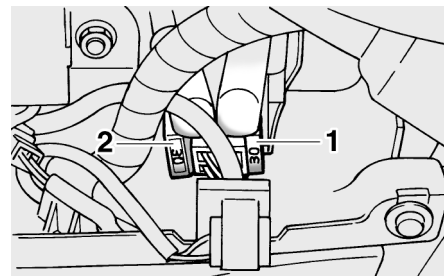
ヒューズ

左のサイドカバーを取り外すと、メインヒューズと系統別ヒューズに分かれてセットされています。



1.ボルト

メインヒューズ：30A



1.メインヒューズ
2.スペアヒューズ

系統別ヒューズ

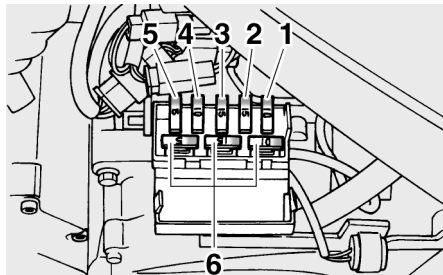
シグナル：10A

イグニッション：15A

ヘッドライト：15A

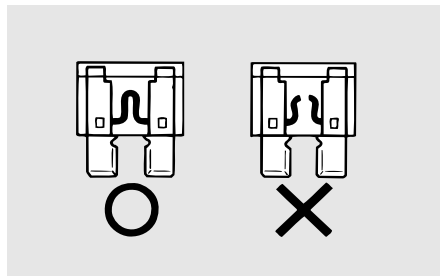
キャブヒーター：10A

バックアップ：5A



- 1.シグナル
- 2.イグニッション
- 3.ヘッドライト
- 4.キャブヒーター
- 5.バックアップ
- 6.スベア

ヒューズが切れたときは、原因を調べてからスベアと交換してください。



▲注意

- 交換するヒューズは、規格外のものを使用しないでください。
- 指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。
- 電装品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。
- 洗車時ヒューズボックスのまわりに水を強く吹き付けないでください。漏電や短絡（ショート）の原因になります。

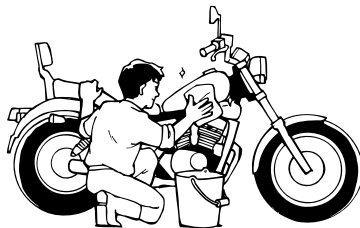
お車の手入れ

JAU02846

洗 車

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。

すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなります。



雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をサビやキズから守ります。

- 中性洗剤を使用して十分に水洗いします。
- 柔らかい布で、車に付着した水分をよくふきとります。
- スチーム洗車や水道ホースなどで、車に直接圧力をかける洗車をしないでください。キズの原因になります。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。

⚠ 警 告

- 車はエンジンが冷えているときにしてください。
- 洗車後、ブレーキのききが悪くなることがあります。ききが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、ききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。
- ブレーキディスクやパッドに、ワックスやグリースなどの油脂類をつけないでください。ブレーキがきかなくなり、事故の原因になることがあります。

保管のしかた

▲注 意

- エアクリーナーや電装品などに水が入らないように注意してください。故障の原因になります。
- マフラー内部に水がたまると、始動不良やサビの原因になることがあります。洗車時はビニール袋をかけるなどして、内部に水が入らないようにしてください。
- コンパウンドの入ったワックスは、プラスチック部分を傷つけますので使用しないでください。

要 点

シートの下から水を強くかけないでください。内部に水が入り、書類が濡れることがあります。

車はできるだけ敷地内に保管し、屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。

なお、ボディーカバーはマフラーが冷えてからかけてください。

▲注 意

長期間お乗りにならないときは、以下のことを守ってください。

1. 保管する前にワックスがけをしてください。サビを防ぐ効果があります。
2. 6 か月ごとにバッテリーの補充電をしてください。
3. 長期保管後の走行前には、バッテリーの充電、および各部の点検をしてください。

アフターケア用品について

大切な車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。ヤマハの車には、ヤマハ純正用品をご使用ください。

A) 4サイクルオイルエフェロSJ

高速走行から高負荷のスポーツ走行まで安心して使える、スポーツタイプのオイルです。

B) 4サイクルオイルエフェロSG

走行を選ばず、あらゆる走行条件に対応するマルチタイプのオイルです。

C) 4サイクルオイルエフェロSF

一般走行、業務用に最適なベーシックタイプのオイルです。

D) ブレーキフルード

高沸点、防錆性、安定性、ゴム劣化防止性に優れたブレーキフルードです。

E) ドライブシャフトオイル

潤滑条件が過酷なドライブシャフトギヤを保護し、円滑な作動を長期間維持するオイルです。

F) ユニコンカークリーム（ワックス）

塗装面の汚れを簡単にとり、手間をかけずに美しい光沢が得られます。また、どんな塗装にも使用できる伸びのよいワックスです。

G) ME-1（防錆潤滑剤）

防錆、潤滑、防湿、浸透性に優れた金属保護液です。



サービスデータ

製品仕様

通 称 名		ヤマハXV1600A ロードスター	原	内 径 × 行 程		95.0 × 113.0mm	減	第1次減速歯数・比		72/47	1.531	
車 名 ・ 型 式		ヤマハ・VP12J		圧 縮 比		8.3 : 1		1速		39/16	2.437	
寸 法	全	長	2500mm	動 機	エアクリーナー形式		乾式不織布	速 比	2速		30/19	1.578
		幅	980mm		ク ラ ッ チ 形 式		湿式多板		3速		29/25	1.160
		高	1140mm		ミッション・チェンジ方式		常時噛合式前進5段		4速		29/32	0.906
		軸 間 距 離	1685mm		始 動 方 式		セル式		5速		21/28	0.750
		最 低 地 上 高	145mm		点 火 方 式		トランジスタ		第2次減速歯数・比		35/32 × 70/33	2.320
重 量	車 両 重 量	332kg	車 体	フ レ ー ム 形 式		ダブルクレードル	灯 火 ・ 計 器	ヘ ッ ド ラ イ ト		12V 60/55W (ハロゲン)		
		前輪分布		157kg	キ ャ ス タ ー			32° 00 '	ブレーキ/テールランプ		12V 21/5W	
		後輪分布		175kg	ト レ ー ル			142mm	方 向 指 示 灯		12V 21W × 4	
		車 両 総 重 量		442kg	ハ ン ド ル 切 れ 角			左右各38°	メ ー タ ー 灯		14V 0.6W × 4	
		前輪分布		180kg	フューエルタンク容量			20L / 予備容量約3.5L	パイロット ラン プ	ニュートラル	12V 1W	
後輪分布	262kg	ブ レ ー キ 形 式 (前)		油圧ダブルディスクブレーキ	ヘッドライト上向き	12V 1W						
乗 車 定 員	2名	↑ (後)	油圧ディスクブレーキ		方向指示器	方向指示器	12V 1W					
			懸 架 方 式 (前)			テレスコピック	燃 料 警 告	LED				
性 能	最 小 回 転 半 径	3200mm	↑ (後)	スイングアーム		エンジン警告	LED					
				緩 衝 方 式 (前)			オイルダンパー/コイルスプリング	オーバードライブ	LED			
原 動 機	最 大 ト ル ク	127Nm(12.9kg・m) / 2000 r/min	↑ (後)	ガスオイルダンパー/コイルスプリング								
				タ イ ヤ サ イ ズ (前)			130/90-16 67H (チューブ有)					
				↑ (後)			150/80B16 71H (チューブ有)					
原 動 機	気 筒 数 ・ 配 列	V型 2気筒										
原 動 機	総 排 気 量	1601cm ³ (cc)										

定地燃費は定められた試験条件のもとでの値です。走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件によって異なります。

サービスデータ

エンジン オイル	交 換 時		3700 cm ³ (cc)	リ ャ ブレーキ	パッドの厚さ		7.5 mm	バッテリー	形 式		YTX20L-BS		
	エレメント交換時		4100 cm ³ (cc)		パッドの摩耗限度		0.5 mm (インジケーター付)		容 量		12V 18Ah		
	オーバーホール時		5000 cm ³ (cc)		ホ イ ールトラベル		前		140 mm	スパーク プラグ	型 式	DPR7EA-9	
トランスファーオイル			400 cm ³ (cc)	後			110 mm	X22EPR-U9					
クラッチレバーの遊び			10～15 mm	タ イ ヤ 空 気 圧	1 名 乗 車	前	250 kPa (2.50 kg/cm ²)	ギ ャ ッ プ		0.8～0.9 mm			
ブレーキの遊び		前	2～5 mm			後	250 kPa (2.50 kg/cm ²)						
		後	無調整		2 名 乗 車	前	250 kPa (2.50 kg/cm ²)						
		フロント ブレーキ	パッドの厚さ			6.0 mm	後				280 kPa (2.80 kg/cm ²)		
		パッドの摩耗限度	0.8 mm (インジケーター付)		高 速 走 行	前	250 kPa (2.50 kg/cm ²)						
						後	280 kPa (2.80 kg/cm ²)						

サービスマニュアル（別売）の紹介

サービスマニュアルには、点検・調整や分解・組立の方法を写真やイラストを用いて説明してあります。車の概要や構造を理解するためにご利用ください。

サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください

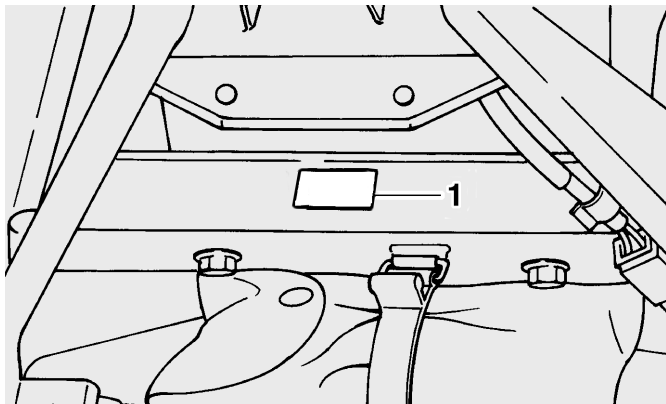
XV1600 サービスマニュアル

部品番号

5JA-28197-J0

モデルラベル

モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化して記載しています。パーツオーダー、アフターサービスなどのご相談に対して的確な判断・処理をするために、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。モデルラベルはシート下のフレームに貼り付けてあります。



1. モデルラベル

あなたの車の情報を記入し、控えにしてください。

車 名 は	XV1600
モデルラベル	製品仕様を示しています。 ○ カラーリングを示しています。 ●

あなたの街のあなたのお店

お問い合わせ、ご相談は下記お客様相談室をお願いします。

ヤマハ発動機株式会社 お客様相談室

フリーダイヤル ☎ 0120-090819

所在地 〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

- ・受付時間 9：00～17：00
- ・土曜、日曜、祝日は除く

最寄りのお客様相談窓口については、メンテナンスノートの巻末をご覧ください。

5JA-28199-J1



ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

XV1600 取扱説明書

000200

再生紙を使用しています